

# 私のカルテ

## 胃がん 手術後フォローアップ



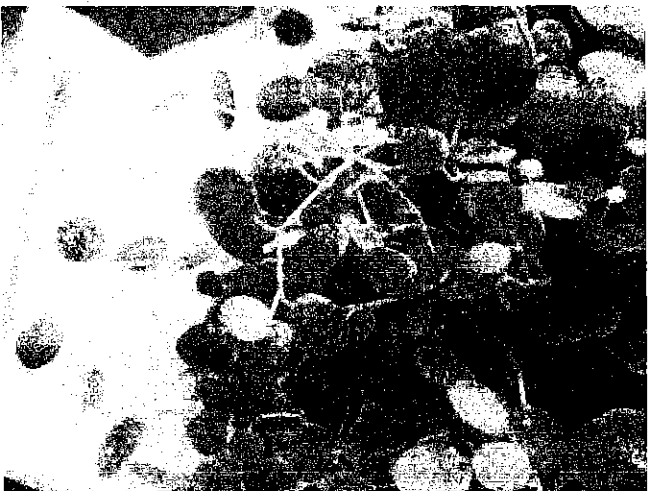
かかりつけ医

病院名: \_\_\_\_\_

担当医: \_\_\_\_\_ 先生

電話: \_\_\_\_\_

※拾った方は上記にお届け下さい。



お名前: \_\_\_\_\_

発行病院: \_\_\_\_\_

発行年月日: 20 年 月 日

2010年7月作成

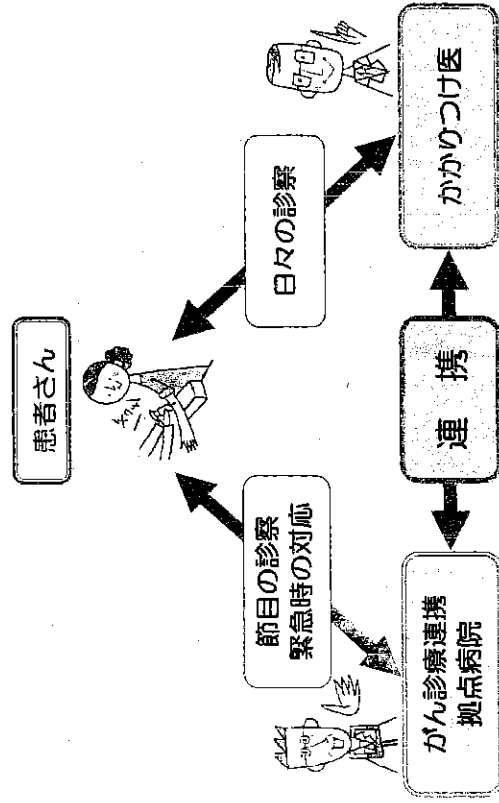
愛媛県がん診療連携協議会



## がん相談窓口のご案内

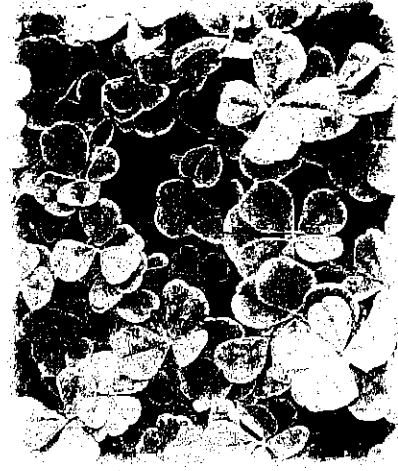
がん診療連携拠点病院の「がん相談窓口」では、専任の看護師、医療ソーシャルワーカーががんに関するあらゆる相談に対応しています。

- ・がんの痛みや不安について
  - ・がん治療の費用について
  - ・家族の方の不安について
  - ・一般の方のがんに関するご質問・・・など。
- 退院後の生活に必要なサポートについても、主治医、病棟の看護師、地域の医療・福祉関係者と考えていくとともに、かかりつけ医とがん診療連携拠点病院とのスムーズな連絡・連携の窓口としての役割も果たしています。



## もくじ

はじめに／もくじ	1
退院にあたって	3
退院後の日常生活	4
胃手術後の後遺症	5
退院後もこれだけは忘れずに！	13
胃がん連携パス	15
患者さん用メモ	27
医療者用連絡メモ	29
がん相談窓口のご案内	33





からだの調子に自信がいたら、仕事に復帰。外出も旅行も、何でもできます。ただ、疲れすぎないようにしましょう。

胃手術後の日常生活で気をつけていただきたいこと

胃手術後の後遺症について、以下のような種類があります。

- ①腸閉塞（ちょうへいそく）
- ②ダンピング症候群
- ③貧血
- ④骨粗鬆症（こつそしょうしょう）
- ⑤逆流性食道炎
- ⑥胃手術後胆石症
- ⑦小胃症状

それぞれについて説明いたします。

## 胃手術後の後遺症①

## 医師用連絡メモ

### 腸閉塞

手術したあとは、ほとんどの場合、お腹の中で腸がたちこちにくっつきます（癒着-ゆちやく）。その結果、腸が曲がったりせまくなることによって腸閉塞が起こることがあります。せまくなったところに食べ物がたまり、便もガスも出なくなり、ときには腸がねじれて、腸の流れが閉ざされてしまうこともあります。

#### 〔 症状 〕

一般的に悪心、嘔吐、排便・排ガスの停止、腹痛がみられます。時には、腸がねじれて血流が途絶え、時間とともに腸が壊死（腸管の細胞が死滅してしまうこと）して、腸に穴が開いたりして大変危険な状態になることがあります。吐き気や嘔吐に加えて痛みが強い場合には、必ず医師の診察を受けて下さい。

#### 〔 治療法 〕

多くの場合には、絶食していると自然に治るのですが、ときには癒着をはがしたり、ねじれを治す手術が必要なことがあります。

年 月 日

連絡事項等あればご記載ください。

サイン

年月日	連絡事項等あればご記載ください。	サイン

ダンピング症候群

胃を切除すると、いままで胃の中で混ぜあわされて少しずつ腸に移動していた食物が、一度に急に腸へ流れ込む状態になります。そのために起きる不愉快な症状がダンピング症候群といわれるものです。食後30分以内にかかる場合（早期ダンピング症候群）が多いのですが、食後2～3時間で起こる場合（後期ダンピング症候群）もあります。

〔 症状 〕

早期ダンピング症候群：食後30分以内に発汗、めまい、脈拍が上がるなどの全身症状と悪心、腹部膨満感、下痢などの消化器症状が出現します。

後期ダンピング症候群：食後2～3時間に頭痛、汗が出る、脈拍が増える、めまい、脱力感を覚え、ときには気を失ってしまうこともあります。

## 患者さん用メモ

### 〔治療法〕

早期ダンピング症候群：安静により多くは数分～数十分で改善します。しかし、顕著な場合はお薬を使うこともあります。

後期ダンピング症候群：糖質の補給が必要になります。ブドウ糖の静注や、お菓子やあめ玉、氷砂糖をとったり、甘い飲み物を飲んで下さい。ただし、飲み物の場合には、たくさん量を一気に補給するとかえって良くない場合がありますのでゆっくりと飲みましょう。予防するには、食後2時間あたりに何か間食をとることが有効です。

年月日

気になることがあれば自由に記載ください。



年月日	気になることがあれば自由にご記載ください。
-----	-----------------------

貧血

胃の切除により、鉄分やビタミン B12 が吸収されにくくなるために貧血が起こります。前者は、鉄欠乏性貧血、後者は巨赤芽球性貧血（きよせきがきゅうせいひんけつ）とといいます。

鉄欠乏性貧血：手術後数ヶ月から出現することがあります。治療は、鉄剤の補充を行います。

巨赤芽球性貧血：ビタミン B12 は体内に蓄積されており、数年間はその蓄積したビタミン B12 でまかなうことができます。しかし手術後 4～5 年以降には蓄積がなくなり、巨赤芽球性貧血が発症することが多いです。治療法は、ビタミン B12 の補充です。定期的に血液検査をして、不足していれば補給する必要があります。

## 胃手術後の後遺症④

骨粗鬆症

胃の手術をすると、カルシウムの吸収が悪くなるため骨のカルシウムが減少して骨が弱くなります。ときに、骨折したりします。必要であればカルシウムや、ビタミンDの投与することがあります。普段からカルシウムの補給には十分気を付けましょう。

5年目以降のかかりつけ医受診は必要時（3～6ヶ月ごと）

定期受診は5年目までですが、以後は施設によりこととなります。

定期受診日以外でも必要があれば受診

メモ

# 胃がん手術後連携パス 5年目

# 胃手術後の後遺症⑤

※「自覚症状」の欄は患者さんご自身で記入してください。

診療場所	がん診療連携拠点病院	
経過	5年	
月 日	/ /	
診察・検査 スケジュール	診 察	<input type="radio"/>
	血液検査	<input type="radio"/>
教育・指導	画像診断	エコーまたはCT、胃カメラ、胸部写真
	生活指導	<input type="radio"/>
診 察	腸閉塞症状	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ( )
	ダンピング症候群	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ( )
	食道逆流症状	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ( )
	貧血症状	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ( )
	狭窄症状	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ( )
	小胃症状	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ( )
	その他の症状	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ( )
	貧血 (Hb)	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ( )
	炎症所見 (WBC など)	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ( )
	肝機能異常 (GOT・GPT など)	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ( )
血液・画像検査	腎機能異常 (Cr など)	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ( )
	腫瘍マーカー異常 (CEA など)	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ( )
	画像検査異常	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ( )
自覚症状	体 重	Kg
	腹 痛	
	腹部膨満	
	胸 や け	
	下 痢	
それ以外の チェック	吐き気・嘔吐	
	全身倦怠感	
	めまい・冷や汗	
	その他	

## 逆流性食道炎

食道内へ胃の内容物や、消化液が逆流することによっておこる食道の炎症です。胃カメラでみると、多くの場合食道がただれています。これは手術によって胃の入口（噴門）の逆流防止の機能が損なわれたために起こる場合と、主に加齢により噴門の機能が低下しておこる場合があります。

### 〔 症状 〕

苦い水（腸液）や酸っぱい水（胃液）が口のほうへ上がってきたり、胸やけなどの症状が見られることがあります。

### 〔 治療法 〕

上半身を 20 度くらい高くして寝ることにより多くは防ぐことができますが、病状に依じて粘膜保護剤、制酸剤、酵素阻害薬（有害な酵素作用を止める）などのお薬が投与されることがあります。



小胃症状

胃を切除したために、胃が小さくなることによっておこってくるすべての症状を小胃症状といいます。胃全摘の場合は、無胃症状と言います。

〔 症状 〕

食事が少ししか入らない、あるいは、すぐにお腹が一杯になるといった症状は最も一般的な症状です。手術を受けられたほとんどの方が経験される症状です。

〔 治療法 〕

お腹を順応させてやるのが大切になります。そのためには、食事のとり方が大切です。入院中や術後のどの時期でも、栄養士の話を聞くことができます。

診療場所	がん診療連携拠点病院	
経過	4年	
月 日	/	
診察・検査 スケジュール	診 察	<input type="radio"/>
	血液検査	<input type="radio"/>
教育・指導	画像診断	エコーまたはCT、胃カメラ、胸部写真
	生活指導	<input type="radio"/>
診 察	腸閉塞症状	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし( )
	ダンピング症候群	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし( )
	食道逆流症状	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし( )
	貧血症状	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし( )
	狭窄症状	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし( )
	小胃症状	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし( )
	その他の症状	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし( )
	貧血 (Hb)	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし( )
	炎症所見 (WBC など)	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし( )
	肝機能異常 (GOT・GPT など)	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし( )
	腎機能異常 (Cr など)	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし( )
	腫瘍マーカー異常 (CEA など)	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし( )
	画像検査異常	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし( )
血液・画像検査	体 重	Kg
	腹 痛	
	腹部膨満	
	胸 や け	
	下 痢	
自覚症状	吐き気・嘔吐	
	全身倦怠感	
	めまい・冷や汗	
	その他	



# 胃がん手術後連携パス

いても医師、薬剤師にご相談ください。よかれと思っております。健康食品で、思わぬ副作用が出る可能性があります。女性悩んでいるのはあなただけではありません

あなたが安心して治療や検査を続けていくためには、家族とともに医師や看護師さんとのコミュニケーションをよくし、一緒にこの病気と闘っていく気持ちが大切です。まだまだ、不安や悩みがあると思いますが、あなたと同じ経験をされた患者さんはたくさんいらっしゃいます。愛媛がん患者・家族の会「おれんじの会」や四国がんセンターでは「まろん会」という名で胃がん手術後の患者さんたちの勉強・懇親の場を設けています。

おれんじの会 (<http://haisai.jp/orange/>)  
まろんの会

(<http://www.shikoku-cc.go.jp/local/seminar/marron.html>)

多くの方が病気を克服し、充実した人生を送っていることを心にとめておきましょう。決して自分のからに閉じこもってしまわないように、明るく希望を持って、病気をしめてかえって良かったと思うような、前向きな生活を送ってください。

診療場所	がん診療連携拠点病院
経過	3年
月 日	/
診察	<input type="checkbox"/>
血液検査	<input type="checkbox"/>
画像診断	エコーまたはCT、胃カメラ、胸部写真
生活指導	<input type="checkbox"/>
腸閉塞症状	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし( )
ダンピング症候群	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし( )
食道逆流症状	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし( )
貧血症状	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし( )
狭窄症状	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし( )
小腸症状	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし( )
その他の症状	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし( )
貧血 (Hb)	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし( )
炎症所見 (WBC など)	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし( )
肝機能異常 (GOT・GPT など)	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし( )
腎機能異常 (Cr など)	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし( )
腫瘍マーカー異常 (CEA など)	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし( )
画像検査異常	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし( )
体重	Kg
腹痛	
腹部膨満	
胸やけ	
下痢	
吐き気・嘔吐	
全身倦怠感	
めまい・冷や汗	
その他	
診察・検査 スケジュール	
教育・指導	
診察	
血液・画像検査	
自覚症状	
腹部のチェック	
それ以外の チェック	







